

令和2年度 札幌市北方自然教育園事業実施報告

(1) 地域活動等事業

| 事業名 | 目的・内容（対象・人数等） | 時期・回数 |
|-------------|--|---------------------------------------|
| 団体指導事業 | 市内の児童会館を対象として、自然素材を活用した出前での工作活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 | 中止 |
| 社会的課題解決事業 | 自然体験活動に関する施設やノウハウを基に、子どもの貧困など社会的課題の解決に向かう事業として予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 | 中止 |
| 児童会館誘致事業 | 児童会館を対象とした北方自然教育園の地域との連携事業として「ようこそ児童会館」の実施を予定したが、密となるバス移動による、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 また、事業中止により余剰品となったジャガイモやヘチマの苗を児童会館の希望館に配布し、有効活用を図った。 | ようこそ児童会館は中止 ジャガイモ・ヘチマの苗を希望館に配布 |
| 自然環境関連フォーラム | 北方自然教育園のある南区白川地区は果樹栽培が盛んな、自然と人との暮らしをつなぐ里山でもあり、その里山に暮らすハチの仲間について「里山でくらすハチ」と題して、倶知安風土館の学芸員の小田桐氏を講師にオンラインでセミナーを実施した。 | 2/23 3組9名 |

(2) 施設運営等事業

| 事業名 | 目的・内容（対象・人数等） | 時期・回数 |
|--|--|--|
| <p>市立幼稚園・認定こども園・学校に対する農業体験の機会提供に関する事業 （体験農場）</p> | <p>市立幼稚園・学校の子どもたちに農業体験の機会を通じて自然環境や食べ物大切さを理解して、「食」について考える事業を提供した。6月に実施を予定していた、稲植付の体験学習はコロナ禍の状況の中、各学校とも中止となったため、北方自然教育園スタッフによる植付を行い、9月、10月の稲刈り体験授業と11月の出前精米授業の実施のみとなった。出前精米授業では新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じながら、説明用のパネルを作業項目ごとに分けてわかりやすく工夫し、足踏み脱穀体験や精米機観察に加え、昔ながらの手法での瓶搗き精米やすり鉢での粳すり体験を実施した。また、学校用の補助教材として、水田に関わる体験活動（植付、収穫、脱穀精米体験）の動画を作成し配信した。</p> | <p>6月～11月 881名 実施18校 延べ26校 ＜内訳＞ 畑作 延べ2校 水田 延べ14校 果樹 延べ10校</p> |
| <p>市立幼稚園・認定こども園・学校に対する生物教材の提供に関する業務 （教材用生物の提供）</p> | <p>教材用生物（稲、ヘチマ、コオロギ、カイコ）の配付についてはソーシャルディスタンスと教材生物受け取り場所には飛沫防止のスクリーンを設置するなど、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じて、予定通り実施した。 尚、コオロギについては繁殖の手順を削減させるため、業者より購入したものを飼育教材と共に配付する方法に変更して実施した。</p> | <p>生物教材配付日 ①6/2 ②6/3 申込207校 延べ650校 ＜内訳＞ 稲 106校 ヘチマ 193校 コオロギ 182校 カイコ 169校</p> |
| <p>自然観察や採取等の学習機会の提供に関する業務</p> | <p>「生物ふれあい隊」 生物教材として飼育している昆虫や展示室にて飼育している生物等の給餌やふれあいを通じて生物の生態や生命の尊さを知ることが目的とした事業であったが、参加者が無く中止となった。</p> | <p>夏期休業期間 0組0名</p> |
| <p>自然体験に関する学習機会の提供に関する業務</p> | <p>市民を対象にした「自然体験学習会」を実施し利用促進を図った。 〈家族でわくわく貝化石観察会〉 〈トンボの観察会〉 〈自然素材のクリスマスリース作り〉 〈新年しめ飾りづくり〉</p> | <p>5～12月 98名(27組)</p> |

| | | |
|---|---|--|
| | <p>〈北方ファーム～家族で食べ物育て隊①～③〉 〈北方ファーム～ジャガイモ比べ隊①～③〉 〈フルーツファーム～家族で果物育て隊①～③〉</p> <p>(詳細：資料 2 令和 2 年度事業実施報告内訳 P1～2 参照)</p> | |
| <p>自然体験や展示に関する情報の収集および提供に関する事業 (情報収集・提供事業)</p> | <p>自然体験や展示に関する情報収集等の実施。 ・南区地域情報提供及び事業(南区シーニックバイウェイスタンプラリーの実施協力。)</p> | <p>南区シーニックバイウェイ事業 スタンプ設置) 期間 4/25～10/31</p> |
| <p>自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流の支援</p> | <p>ボランティア事業については 7 月より、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、作業前には検温を行い、1 日 1 名野外での活動のみ可能と活動を制限をして実施した。 教育機関支援事業についてはみなみの杜高等支援学校に、協力活動の場として北方自然教育園のフィールドを提供し学習支援を行った。 〈市民ボランティア事業〉 〈教育機関支援事業〉</p> <p>(詳細：資料 2 令和 2 年度事業実施報告内訳 P2 参照)</p> | <p>市民ボランティア事業 (登録者 3 人) 7～3 月 延べ人数 34 人</p> <p>教育機関支援事業 ①みなみの杜高等支援学校 10/29 15 名 ②学生展示 1/23～2/28</p> |
| <p>自然体験や展示に関する相談業務 (相談業務)</p> | <p>自然や生物に関する各種相談に対応した。 ・昆虫、植物に関することなどの相談に対応し、相談者が適切な行動がとれるよう説明および回答を行った。</p> | <p>通年随時</p> |
| <p>その他北方自然教育園の設置目的を達成するために必要な業務</p> | <p>設置目的を達成するために必要な業務として、自然環境学習・研修を実施し、学習活動の推進を図った。 〈ロビーで簡単工作〉 〈大人の学び舎「春の自然散策～身近な山野草・山菜～」〉 〈親子サクランボ採取とジャム作り体験〉</p> | <p>4 月～3 月 70 名(13 組) ※ミニ展示は施設利用者数に含む</p> |

| | | |
|---------------|---|--|
| | <p>〈教職員研修事業〉</p> <p>〈森と池の生き物たちを観察しよう～夏休み親子観察会～〉</p> <p>〈北方スノーシュー自然観察〉</p> <p>〈大人の学び舎～初めての野鳥観察〉</p> <p>〈ロビー展示〉</p> <p>(詳細：令和2年度事業実施報告内訳 P2～3 参照)</p> | |
| (使用承認等に関する業務) | <p>北方自然教育園の利用に関する業務を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有料貸室利用の受付(多目的室・工作室) ・学習館ロビー展示事業に関する受付 | <p>有料貸室受付</p> <p>多目的室 6件</p> <p>工作室 0件</p> |
| (広報業務) | <p>管理業務に付随するものとして施設のPRや情報提供を行い広報に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Facebook ページの更新 ・事業チラシ等の発行 ・新聞及び広報誌の取材対応 | <p>通年随時</p> |
| (調査・研究) | <p>北国の農作物に触れる機会の提供として学びの農園(Learning Garden)を試行的に実施。農薬を使わない自然農法の提案を来園者に対して提案することができた。</p> | <p>通年随時</p> |

<令和2年度事業実施報告内訳>

【自然体験に関する学習機会の提供に関する業務】

単発型自然体験

| 回 | 月日 | 曜日 | 内 容 | 参加人数 |
|------------|-------|----|--|--------|
| 1 | 7/26 | 日 | 「家族でわくわく貝化石観察会」 サッポロカイギュウの発見者を講師に招き、豊平川河川敷周辺の歴史・地質・地層の成り立ちをフィールドワークで学び、貝化石の発掘体験を行なった。 | 3組 10名 |
| 2 | 8/29 | 土 | 「トンボの観察会」 北海道トンボ研究会会員を講師として招き、トンボの生態について座学を行ない、園内でのトンボ採取と観察会を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 | 中止 |
| 3 | 11/21 | 土 | 「自然素材のクリスマスリース作り」 園内のつる性植物で形成したリースを用い、木の実やドライフラワー等の自然素材で装飾し、クリスマスリースの製作を行う事業であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 | 中止 |
| 4 | 12/12 | 土 | 「新年しめ飾りづくり」 北海道特有の菅(すげ)を用いたしめ縄づくりを行ない、その後、園内で採集されたさまざまな自然素材で装飾し、縁起物の由来などを通して伝統文化に触れる機会を提供する事業であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 | 中止 |
| 5 | 12/13 | 日 | | |
| ①小計(1事業1回) | | | | 3組 10名 |

継続型自然体験

| 回 | 月日 | 曜日 | 内 容 | 参加人数 |
|---|------|----|---|--------|
| 1 | 5/9 | 土 | 「北方ファーム～家族で食べ物育て隊」① 農作物についての学習と畑でのトウモロコシとジャガイモの種まき体験 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 | 中止 |
| 2 | 6/27 | 土 | 「北方ファーム～家族で食べ物育て隊」②(継続参加者のみ) 農作物の生育状況の観察とスケッチ・記録作成 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 | 中止 |
| 3 | 8/15 | 土 | 「北方ファーム～家族で食べ物育て隊」③(継続参加者のみ) トウモロコシとジャガイモの収穫体験 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 | 中止 |
| 4 | 5/10 | 日 | 「北方ファーム～ジャガイモ比べ隊」① ジャガイモについての学習と畑で3種類のジャガイモの種まき体験し 3種類の生育の違いなどを比べる。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 | 中止 |
| 5 | 7/12 | 日 | 「北方ファーム～ジャガイモ比べ隊」②(継続参加者のみ) 除草作業と3種類のジャガイモの生育状況の観察とスケッチ、記録作成 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 | 中止 |
| 6 | 9/6 | 日 | 「北方ファーム～ジャガイモ比べ隊」③(継続参加者のみ) 3種類のジャガイモ収穫体験と味覚の違いを試食する。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 | 中止 |
| 7 | 6/20 | 土 | 「フルーツファーム～家族で果物育て隊～」① ナシの摘果(果実の間引き)や、袋かけ作業体験 | 6組 22名 |

| | | | | |
|---------------|-------|---|---|---------|
| 8 | 6/21 | 日 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて、野外で集合解散として実施 | 6組 24名 |
| 9 | 10/17 | 土 | 「フルーツファーム～家族で果物育て隊～」②(継続参加者のみ) | 6組 18名 |
| 10 | 10/18 | 日 | ナシの収穫体験と病害虫による被害について学習。収穫物の加工方法も交え果樹をより深い理解につながる情報提供を行った。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じて、野外で集合解散として実施した。 | 6組 24名 |
| ②小計(1事業4回) | | | | 24組 88名 |
| ①+②合計(2事業全5回) | | | | 27組 98名 |

【自然体験や展示に関する市民の自主的な活動及び交流の支援】

市民ボランティア事業

| 回 | 月日 | 曜日 | 内 容 | 参加人数 |
|-------------|----|----|------------------|---------|
| 1 | 随時 | — | 個別自主活動による園内の環境美化 | 34回 34名 |
| 合計(1事業全34回) | | | | 34回 34名 |

教育機関支援事業

| 回 | 月日 | 曜日 | 内 容 | 参加人数 |
|------------|---------------|--------|---|-------|
| 1 | 10/29 | 木 | 【みなみの杜高等支援学校】 ナシの残果処理作業と水田の体験学習「出前精米」用、粳の薫くず取り作業の体験を行った。 | 15名 |
| 2 | 1/23～ 2/28 | 土 日 | 「学生展示」 東海大学生物学科の松井教授と学生・科学学部有志がキャンパス内にある「光風園」の生態調査を研究して制作した、パネルや展示物などを展示して、学生の研究発表の場を提供した。 | 期間中随時 |
| 合計(2事業全2回) | | | | |

【その他北方自然教育園の設置目的を達成するために必要な業務】

| 回 | 月日 | 曜日 | 内 容 | 参加人数 |
|---|---------------|--------|--|--------|
| 1 | 4/25～ 3/31 | 土 水 | 「ロビーで簡単工作」 学習館利用促進のため、今年度より通年でロビー工作の実施を予定したが、コロナウイルス感染拡大防止策により、中止とした。 | 中止 |
| 2 | 5/6 | 水 | 大人の学び舎「春の自然散策～身近な山野草・山菜～」 北海道薬科大学名誉教授を講師に招き座学と園内観察林を活用して、春から初夏にかけて生息する山野草の観察を中心にフィールドワークを実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 | 中止 |
| 3 | 7/4 | 土 | 「親子サクランボ採取とジャム作り体験」 | 中止 |
| 4 | 7/5 | 日 | 親子と大人を対象にサクランボの採種体験とジャム作りを実施する予定であったが、コロナウイルス感染拡大防止策により、中止とした。 | |
| 5 | 7/31 | 金 | 「教職員研修事業」 教育センターと協働し教職員の研修会の受入れと自然環境研修、農作業体験を実施した。 | 30名 |
| 6 | 8/2 | 日 | 「森と池の生き物たちを観察しよう～夏休み親子観察会」 北海道自然観察協議会と協働で自然観察指導員の案内のもと、親子で園内の自然観察林を散策しながら、動植物の生態について学び、池の中の生き物を採集して観察を行った。 | 9組 34名 |

| | | | | |
|------------|---------------|--------|--|--------|
| 7 | 1/16～ 3/14 | 土 日 | 「北方スノーシュー自然観察」 スノーシューの貸し出しを行ない、園内での自然散策を実施した。 | 4組6名 |
| 8 | 2/1 | 土 | 「大人の学び舎～初めての野鳥観察」 スノーシューで園内を散策しながら、野鳥の集まるポイントや習性、 痕跡などを紹介する事業を予定していたが、参加申込がなかったため中 止となった。 | 中止 |
| ①小計(3事業3回) | | | | 13組70名 |

ロビー展示

| 回 | 月日 | 曜日 | 内 容 | 参加人数 |
|--------------|----------------|--------|---|--------|
| 1 | 4/21～ 5/24 | 火 日 | ミニ展示「春の山野草・山菜」 大人の学び舎「春の自然散策～身近な山野草・山菜～」と連動して 春の自然散策で見られる植物などをパネルで紹介する予定であったが 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴い、中止とした。 | 中止 |
| 2 | 7/23～ 8/23 | 木 日 | ミニ展示 棚橋コレクション「北海道で産出された化石と鉱物」 「家族でわくわく貝化石観察会」の事業と連動して、サッポロ カイギュウの発見者の監修および協力のもと、貝類を中心としたさ まざまな化石標本を展示した。 | 期間中随時 |
| 3 | 9/19～ 10/25 | 土 日 | ミニ展示「秋の散策で注意したい生物」 秋の散策時期に向けて、ヒグマやスズメバチ等の危険生物の生態や 注意事項のパネルを展示した。 | 期間中随時 |
| ②小計(2事業2回) | | | | — |
| ①+②合計(5事業5回) | | | | 13組70名 |

令和2年度札幌市北方自然教育園管理業務実施報告書

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

1 統括管理業務

(1) 管理運営業務の事業方針

札幌市の野外教育施設として、学校教育における自然体験活動機会の提供を第一義と捉え、中でも農業を中心とした体験学習を安定的に提供することを事業方針に掲げ、確実な業務遂行に努めた。

また、令和2年度はコロナ禍により体験農園や事業の中止が多くなったが、感染症予防対策を取りながら、できる限りの提供プログラムを実施した。

【重点目標への取り組み】

ア 地域活動等事業

- ①「市内の自然環境や動植物についてのセミナーを実施し、自然環境の保全や共生について考える機会を提供」

自然と人との暮らしをつなぐ「里山」をテーマに、里山で暮らすハチの仲間について講師を招き、Web会議サービス「Zoom」を使用したオンラインセミナーを実施した。

- ②「地域住民や果樹園等との関係性を深め、白川地区一体となって知名度向上を図る」

白川地区の地域活動として、共同で使用している水源地の泥除去や除草などの整備を行った。

イ 施設運営等事業

- ①「小中学校をはじめとする体験学習への安定的な機会提供および学習機会の強化」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、水田の植付を中止とする学校が多かったが、希望校には収穫体験が実施できるように北方自然教育園スタッフにより植付を行い、体験学習の機会を提供した。また、ホームページでは補助教材として、稲の植付、収穫、精米までの動画を公開した。

- ②「生物教材配付の生物飼育方法の見直しと幼保小中学校への安定的な供給」

生物教材配付では、コオロギの繁殖業務を取りやめ、業者より購入したものを配付する方法に変更する事で、業務の効率化を図った。

- ③「SNSを活用した小中学校に対する事前および事後学習の支援」

ホームページを改修し、学校教材のページを公開するとともに、Facebookを活用した情報発信を行った。

④ 「学びの農園 (Learning Garden) 実施に向けての調査研究」

学びの農園については、コンパニオンプランツを植えることで植物の特性をいかし害虫を防ぐ取組を実施するとともに、解説パネルを設置し、学びの機会を提供した。

⑤ 各セクションがもつ強みを生かしあい、事業の連携強化を図る。

児童会館との連携事業として、自然体験活動及び農園の活用を予定していたが、コロナ禍で中止となったため、事業中止により余剰品となったジャガイモやヘチマの苗を児童会館の希望館に配布し、有効活用を図った。

(2) 平等利用の確保

学習館等施設の利用に対しては、年齢、性別の有無等により制限はしていない。

公平で平等な市民対応を原則とし、個別の要望・事例にも誠実に耳を傾け利用者に向き合う姿勢を維持することに努めた。

また、貸室有料利用に関してもよりよく施設を利用していただくため、利用内容の確認などきめ細やかに対応をした。

(3) 地球温暖化対策及び環境配慮の推進

エネルギー管理標準に基づき、電気・ガス・水道・燃料の使用、塵芥処理量など環境へ配慮した施設運営を行なった。

また、エネルギー消費量を継続的に記録し、職員のエネルギー消費削減の意識を高めた。

(4) 管理運営組織の確立

統括管理者の担当課長以下、施設には指導員及び農業スタッフを配置し、円滑な施設運営を行った。また、農作業、昆虫飼育など専門的な知識が要求されることから業務分担を行い職員間のバックアップ体制も併せて整えた。

当財団では、労働基準法、男女雇用機会均等法、育児・介護休業法等の労働関係法令を遵守するとともに、厚生労働省ストレスチェック制度の導入及び職員のためのメンタルヘルス相談窓口を開設し（産業カウンセラー）、雇用環境維持に努めている。

(5) 管理水準の維持向上に向けた取組

日々の業務は朝礼等で報告・確認を行い、連絡事務等、情報の共有を図り迅速な対応に努めた。必要な技術研修、自己啓発研修など適宜実施した。

(6) 第三者に対する委託業務等の管理

各業務とも、毎月末に業務完了届を提出させ業務検査を実施。また、日常業務においては定期的に履行確認を行い、適正に業務が遂行されているかチェックした。

(7) 委員会及び関係機関との連絡調整等

令和2年度運営協議会については、新型コロナウイルス拡大防止対策として資料送付による報告とし、後日意見を集約する形とした（第1回11月3日資料送付、第2回3月9日資料送付）。水田での植付ができなかった学校に向けた動画配信やオンラインセミナー

一の実施に対する好評価をいただいた。

その他、施設にかかる修繕、調査依頼及び行政機関の視察対応等札幌市教育委員会と連絡調整を図り、適宜対応した。

(8) 財務

資金は当財団事務局で集中管理しており、ネットワークシステムの導入により、適正かつ迅速に経理処理している。事業における参加料等は概ね収入当日または翌日には財団指定金融機関口座へ預入を完了させ、資金管理を徹底して事故防止に努めた。

(9) 苦情対応

市民からの要望・苦情等は、「利用相談処理票」を作成し、担当課及び財団本部並びに札幌市教育委員会と連携し迅速かつ誠意ある対応に努めた。

(10) 記録・モニタリング・報告・評価

年間の事業計画書をはじめとする提出書類や業務日誌等の日常記録書類、及び統計資料等、何れも当初の計画どおりデータとして保存し、照会等速やかに対応ができるよう実施した。

各事業においてはアンケート調査を実施し、事業満足度の向上に努めた。

また、札幌市の業務・財務検査等に対し誠実に対応した。

2 施設・設備等の維持管理に関する業務

(1) 総括的事項

①安全・危機管理対策

不測の事態に備え緊急連絡体制を整備し、消防計画にて自衛消防隊を組織し、消防訓練を実施した。

また、令和2年3月1日～令和2年4月6日および令和2年4月14日から令和2年5月31日新型コロナウイルス感染症対策に伴い臨時休園とした。再開後は下記のとおり対策をとり施設運営を行った。

【施設管理】

- ・「北海道スタイル」安心宣言のホームページ周知および館内掲示
- ・施設内消毒液設置および清掃時の消毒作業の実施
- ・職員のマスク、手袋の着用
- ・受付窓口における飛沫感染予防シートの設置
- ・図書コーナーの閉鎖

【事業運営】

- ・ボランティア活動は検温の徹底および1日1名野外活動のみと制限した。
- ・屋内事業の中止および野外事業の定員制限

②連絡体制確保

各関係機関との連絡体制を整備した。

③保険加入

施設賠償責任保険及び損害賠償責任保険に加入し、事故に備えた。

(2) 施設、設備等の維持に関する業務

①清掃業務

園内の建物及び主要箇所の日常清掃等は指定管理者職員が行い、特別清掃業務については専門の清掃会社に委託し実施した。また、巡回点検により突発的な汚れに対処し環境衛生に努めた。

ア 日常清掃業務および館内外の日常点検（指定管理者が実施。）

イ 特別清掃業務（株式会社キョーエー札幌に委託し、特別清掃を実施した。）

②警備業務

夜間警備、年末年始を含めた休園日の警備など主たる警備業務は専門の警備会社に委託し実施した。また、事故や自然災害など不測の事態に対しては、緊急連絡体制を整備しその対応に備えた。

ア 警備業務〔機械警備〕（委託業者は株式会社ベルックス。実施期間は通年）

イ 火災・事故の防止（日常点検として指定管理者が実施）

ウ 火災・事故等不慮の事故が発生した時の緊急対応（緊急連絡網による）

③施設及び設備の保守点検業務

設備点検業務については以下の項目について専門業者に委託して実施した。

（委託業者は三城美装株式会社。実施期間は通年）

ア 自家用工作物保安業務

イ 浄化槽維持管理業務

ウ 冷暖房設備保守管理業務

エ 受水槽清掃業務

オ 温風器整備点検業務

カ その他施設保守業務（日常点検として指定管理者が実施）

各施設が正常に機能していることの確認は、基本的に巡回点検によって実施した。

また、利用者や委託業者等からの具体的な機能低下の報告に対し、迅速に対処した。

④修繕

施設全般の機能、備付備品について施設管理上及び市民等の利用に支障が生じることが無いように速やかに修繕の対応をした。

ア 温室水漏れ修繕業務

イ ガラス交換作業業務

ウ 水田配管修繕業務

エ 温室ドア硝子入替業務

オ 刈り払い機修繕業務

- カ 除雪機整備修繕業務
- キ 電気柵ユニット修繕業務

⑤備品管理

施設の管理運営及び市民の利用に支障が生じることが無いように備品の管理点検を行い保全に努めた。

⑥駐車場管理

業務時間帯における駐車場の管理及び駐車場利用車両に関しては監視・誘導等を適切に行い、利用者の円滑な活動を確保した。また、冬期間の除雪業務については専門業者に委託し実施した。

(委託業者は株式会社光和、実施期間は12月～3月)

⑦外構緑地管理

敷地内外溝、緑地等の美観保持については、専門業者に委託し実施した。また、簡易的な剪定や消毒あるいは冬囲い等については指定管理者が実施した。

(委託業者は株式会社南香園、実施期間は5月～10月)

(3) 防災業務

消防設備保守点検業務、消防訓練の実施をした。
消防設備については、専門業者に委託し保守点検を実施した。
(委託業者は株式会社ベルックス。2回 [機能・総合点検])
初期消火の消防訓練を行い緊急事態に備えた。

3 事業の計画及び実施に関する業務

「令和2年度 札幌市北方自然教育園事業実施報告」(資料1・2 参照)

4 施設の利用等に関する業務

「令和2年度 札幌市北方自然教育園月別利用状況一覧表」(資料3 参照)

5 管理業務に付随する業務

広報業務

「令和2年度 札幌市北方自然教育園事業実施報告」(資料1 P4)「広報業務」参照

6 その他

自主事業

「令和2年度 札幌市北方自然教育園事業実施報告」(資料1 P1)

(1)地域活動等事業(令和2年度札幌市北方自然教育園自主事業計画)参照

令和2年度 札幌市北方自然教育園 収支報告書

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

1. 収 入

(単位：千円)

| 項 目 | 予算額(A) | 決算額(B) | 差異(A-B) | 備 考 |
|---------|--------|--------|---------|--------------|
| 利用料金 | 137 | 128 | 9 | 利用料金 |
| その他収入 | 319 | 49 | 270 | 参加料・受講料、雑収入等 |
| 指定管理費 | 30,342 | 30,342 | 0 | |
| 収入計 (I) | 30,798 | 30,519 | 279 | |

2. 支出

(単位：千円)

| 項 目 | 予算額(A) | 決算額(B) | 差異(A-B) | 備 考 |
|-------------|--------|--------|---------|---------------------------|
| 人件費 | 10,061 | 9,403 | 658 | 給料、臨時職員賃金、福利厚生費等 |
| 旅費・交通費 | 113 | 5 | 108 | 実費交通費、旅費 |
| 光熱水費 | 1,560 | 1,572 | ▲ 12 | 電気、水道料金 |
| 通信運搬費 | 252 | 299 | ▲ 47 | 固定電話、ネット回線等 |
| 租税公課 | 2,155 | 2,117 | 38 | 消費税分 |
| 広告宣伝費 | 540 | 539 | 1 | ホームページ改修、シーニック広告料 |
| 保険料 | 150 | 119 | 31 | 施設賠償・入場者保険 |
| 賃借料 | 207 | 164 | 43 | 軽トラックレンタル |
| 修繕費 | 300 | 281 | 19 | 付帯設備修繕、農機具修繕、除雪機修繕等 |
| 消耗品費 | 1,321 | 817 | 504 | 管理用品、農業等物品、事業用品、飼育用品等 |
| 備品費 | 100 | 0 | 100 | |
| 印刷製本費 | 650 | 128 | 522 | 水田パネル |
| 燃料費 | 1,034 | 1,740 | ▲ 706 | 重油、灯油、トラクター軽油等 |
| 諸謝金 | 104 | 22 | 82 | 研修講師謝礼 |
| 委託費 | 11,923 | 11,778 | 145 | 体験農園営繕、樹木植栽物管理、警備、設備保守点検等 |
| 入場料 | 0 | 0 | 0 | |
| 負担金 | 30 | 0 | 30 | |
| 役務費 | 528 | 152 | 376 | コピー機保守点検、浄化槽検査、ゴミ袋等 |
| 会議費 | 3 | 2 | 1 | |
| 雑支出 | 0 | 0 | 0 | |
| 支払手数料 | 2 | 1 | 1 | |
| 減価償却費 | 0 | 0 | 0 | |
| 行政財産目的外使用料 | 0 | 0 | 0 | |
| その他支出 | 776 | 771 | 5 | 財団本部経費等 |
| 行政財産の目的外使用料 | | | | |
| 支出計 (II) | 31,809 | 29,910 | 1,899 | |

3. 収支差額

(単位：千円)

| 項 目 | 予算額(A) | 決算額(B) | 差異(A-B) | 備 考 |
|-----------|---------|--------|---------|-----|
| 差額 (I-II) | ▲ 1,011 | 609 | ▲ 1,620 | |

3 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会の経営状況

- (1) 令和2年度事業報告書
- (2) 令和2年度事業実施状況
- (3) 令和2年度決算書
 - ア 貸借対照表
 - イ 正味財産増減計算書
 - ウ 附属明細書
 - エ 財産目録
 - オ 財務諸表に対する注記

※上記文書につきましては、財団理事会開催前のため、理事会後に添付いたします。